



ごあいさつ

大型連休明けにコロナ感染の拡大が懸念されましたが、小康状態でしょうか。

件数そのものは当初よりずっと多いのに、世の中の雰囲気は緩くなっています。専門家の方々の意見もだいぶ変化してきています。面会について当職員の間でも色々な意見があります。耳の遠い入居者様とご家族の会話が成立しないケースがよくあります。「マスクをお互いにしていれば至近距離でも会話させてあげたい。ダメでしょうか？」その気持ちはよく分かります。しかし、至近距離で大声で会話するというのはリスクが高いです。

今のところ玄関先の特設箇所で面会をお願いしている状況です。入居者様はマスクをしていますが、一方面会される方はマスクを着用していません。マスクは口の動きが分かりません。

見るに見かねて職員が通訳をする事があります。家族水入らずの会話にお邪魔するようで心苦しいのですが、会話の一助になればと思っています。

政府はコロナワクチンについて4回目の接種を検討しています。まだ詳細について承知しておりません。ただ、北本市在住の方については、市から調査がありました。随時ご家族へ電話をし、接種希望の有無をお聞きしているところです。

コロナ感染に加えて戦争のニュースが毎日流れて憂鬱です。私達の暮らしにも影響が出ています。原油高、円安で物価が上昇し、インフレ懸念があります。施設においては、光熱費がぐっと上がりました。介護用品についても各業者より値上げラッシュで頭が痛いです。

子供の数が（今年4月1日）時点で1465万人、前年比25万人の減少だそうです。益々少子高齢化です。最近「ヤングケアラー」が問題になっています。小学校6年生の6%が家族の世話をしているとの調査結果です。これは単にお手伝いをしているというレベルではなく、健康や学業に影響が出ていることを示しています。意外にも当事者達が自覚していない点が社会から見過ごされてしまっている一因とも言われています。私たちは、家族が頑張っていて、おじいちゃん、おばあちゃんをお世話することを否定しません。ただ、困っている家族に寄り添う施設でありたいと思っています。老人ホームへ入所させることには、様々な葛藤がありましょ。しかし、家族其々の生活も大事です。ましてや、学業を優先すべき子供たちにそのしわ寄せがあってはなりません。

施設長 白石敏子

行事報告

6月12日 誕生会



行事予定

6月19日 手作りランチ(さつき2・花2)

26日 習字硬筆レク

7月 3日 メイクレク

10日 誕生会



納涼祭(7月中に開催予定)

相談員よりお願い



タオルケット

・タオルケットをお持ちいただくか、あるいはお送りいただくとありがたいです。施設内は冷房を入れてはいますが、熱さの厳しい時期は、入所者の皆様が横になる際、タオルケットがあると掛布団の調整がしやすいです。

後期高齢者医療被保険者証、介護保険負担割合証

・それぞれ期限が7月31日までのため、新しいものが間もなく届きます。届いたら施設にお持ちいただくか、お送りいただければと思います。

介護保険負担限度額認定証

・これも期限は7月31日までです。申請書類がお手元に届くと思いますので、お手続きをお願いします。発行されたら施設にお持ちいただくか、お送りいただければと思います。

